

2026年度

法成寺10号線・8-1

福山市 駅家 町 地内

道路改良工事 実施設計書

工 事 概 要	当初設計		第 1 回変更
	工事延長	L=16. 0m	
	道路幅員	W=4. 0m	
	重力式擁壁	L=16. 4m (V=26m3)	
	舗装工	A=35m2	

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- ・本特記仕様書は、道路改良工事（法成寺10号線・8-1）に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和8年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
- ・その他関連規格類
- ・小黑板情報電子化を実施しない工事写真について、監督員の承諾を得る必要はないものとする。

第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節 工事に着手すべき期日について

- ・受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

第5節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第6節 再生資源利用計画の現場掲示

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

第2章 材料

第1節 コンクリートの配合指定

- ・鉄筋コンクリート（呼び強度21及び24）の水セメント比については55%以下、無筋構造物のコンクリート（呼び強度18）の水セメント比については60%以下とすること。

第3章 施工条件

第1節 関係機関との協議

- ・協議先機関名：上下水道局
- ・協議内容：工事に支障となる水道施設移設について

第2節 検査期間

- ・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

第3節 交通誘導警備員

- 1 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、関係機関との協議を十分に行うこと。また、地域の地元関係者等周辺を利用する市民への周知徹底を図り、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生の無いように努めること。
- 2 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立入りを禁止して危険防止に努めること。
- 3 本工事における交通誘導員は、交通誘導警備員Bを見込んでいる。尚、交通誘導警備員の実施伝票は原本を提出すること。
- 4 本工事において交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導警備員の対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要人数を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。
- 5 受注者は、工事着手に先立ち、交通誘導警備員の配置計画（配置日数及び配置場所）を作成し、監督員と協議すること。

第4節 熱中症対策

- ・本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- 1 工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13 日間、年末年始6 日間（12月29 日～1月3 日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日及び振替休日を除く3日間とする。）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
 - 2 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温又は最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
 - 3 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。なお、本工事において、上記地上観測所及び観測地点は、「福山」とすることを標準とする。
 - 4 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時まで監督員に提出すること。
 - 5 受注者は、計測終了日について、工事完成時まで監督員と協議するものとする。
 - 6 積算方法は次のとおりとする。
 - (1) 補正方法
 - ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。ただし、現場管理費率の補正は、「積算寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本通知の補正値を合計し、2%を上限とする。
 - イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
 - ウ 補正値（％）＝真夏日率×1.2
 - (2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で少数点3位を四捨五入して2位止めとする。
 - 7 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることが出来る。
 - 8 検査員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

第5節 建設副産物について

(1) 工事受注者は、工事着手前に、次の書類を本工事の監督員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先の現地確認写真を提出すること。

1 建設廃棄物処理計画書

- ・廃棄物処理業者（収集及び運搬）の許可証の写し（許可車両の自動車登録番号一覧及び自動車検査証の写しを含む）
- ・廃棄物処理業者（中間処理・最終処分）の許可証の写し（再生資源化施設にあっては、それを示す書類を含む）
- ・運搬ルート、処分場の位置、事業の範囲、処理能力及び処理方法を明示したもの
- ・各処分場の現地確認写真
- ・建設工事の受注者と処理業者（収集、運搬、中間処理・最終処分・再資源化施設）との二者の業務委託契約書の写し

2 再生資源利用計画書

3 再生資源利用促進計画書

(2) 工事受注者は、「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」及び「建設廃棄物処理計画書」に従い建設廃棄物及び特定建設資材廃棄物が適正に処理されたことを確認し、工事完成時に次の書類を監督員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先への搬入状況の写真を添付すること。

1 再生資源利用実施書

2 再生資源利用促進実施書

3 建設廃棄物処理実施書

- ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し

（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）

- ・収集及び運搬の写真並びに中間処理場及び最終処分場（直接最終処分の場合のみ）への搬入状況の写真

第6節 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は、監督員と受注者が協議するものとする。

・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。

・実施伝票は原本を提出すること。

第7節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

- ・建設リサイクル法対象工事（請負代金額500万円以上）の場合、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を遵守し適正に処理すること。また、法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について下請負人に告知する場合は、告知書の写しを監督員に提出すること。
- ・特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
- ・特定建設資材廃棄物は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
- ・再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が廃棄物処理法に基き許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、施設への受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものとする。
- ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。
- ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）

第4章 その他

第1節 その他項目

- ・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 70 福山市 00-08.08.01(0)		凡例 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	04 道路改良工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
道路改良					Y1E01 レベル1
道路土工	1	式			Y1E0101 レベル2
掘削工	1	式			Y1E010101 レベル3
掘削 【土質,施工方法,押土の有無】 【障害の有無,施工数量】	1	式			Y1E01010101 レベル4
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準	9	m3			SPK26040001 00 単第0 -0001 表
路体盛土工	1	式			Y1E010103 レベル3
路体(築堤)盛土 【施工幅員】		m3			Y1E01010301 レベル4
路床盛土 施工幅員2.5m未満	20	m3			SPK26040005 00 単第0 -0002 表

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
残土処理工					Y1E010110 レベル3
	1	式			
土砂等運搬 【土質】		m3			Y1E01011002レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離6.0km以下(5.0km超)	9	m3			SPK26040002 00 単第0 -0003 表
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離13.0km以下(10.0km超)	2	m3			SPK26040002 00 単第0 -0004 表
残土等処分		m3			Y1E01011003レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
受入費 粘性土	9	m3			F0000001001 00
受入費 砂質土等	2	m3			F0000001006 00
擁壁工	1	式			Y1E0106 レベル2

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
作業土工					Y1E010601 レベル3
	1	式			
床掘り 【土質】		m3			Y1E01060102レベル4
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	40	m3			SPK26040014 00
埋戻し 【土質区分,土質】		m3			単第0 -0005 表 Y1E01060103レベル4
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	10	m3			SPK26040019 00
場所打擁壁工(構造物単位)					単第0 -0006 表 Y1E010605 レベル3
	1	式			
重力式擁壁		m3			Y1E01060502レベル4
重力式擁壁 擁壁平均高さ1m超2m未満 基礎碎石無し 均しCo有り	26	m3			SPK26040070 00
構造物撤去工					単第0 -0007 表 Y1E0112 レベル2
	1	式			

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
構造物取壊し工					Y1E011206 レベル3
	1	式			
コンクリート構造物取壊し 【構造物区分,工法区分】		m3			Y1E01120601レベル4
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工(大型ブレーカまたは、Co圧砕機)		m3			SDT00031 00
	0.7	m3			単第0 -0008 表
舗装版切断 【舗装版種別,舗装版の全体厚】		m			Y1E01120602レベル4
		m			
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下		m			SPK26040304 00
	14	m			単第0 -0009 表
舗装版破碎 【舗装版種別,舗装版厚】		m2			Y1E01120603レベル4
		m2			
舗装版破碎積込(小規模土工)		m2			SPK26040017 00
	17	m2			単第0 -0010 表
石積取壊し 【形状】		m2			Y1E01120604レベル4
		m2			
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準		m3			SPK26040001 00
	8	m3			単第0 -0001 表

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
運搬処理工					Y1E011216 レベル3
殻運搬 【殻種別】	1	式			Y1E01121601レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離14.4km以下(10.9km超)	0.7	m3			SPK26040155 00 単第0 -0011 表
殻運搬 舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離3.0km以下(2.5km超)	0.9	m3			SPK26040155 00 単第0 -0012 表
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離12.0km以下(9.0km超)	8	m3			SPK26040002 00 単第0 -0013 表
殻処分 【殻種別】		m3			Y1E01121602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
受入費 Co殻 無筋	2	t			F0000001002 00
受入費 As殻	2	t			F0000001003 00

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
受入費 岩塊等					F0000001004 00
舗装工	8	m3			Y2900 レベル2
アスファルト舗装工	1	式			Y3900 レベル3
表層	1	式			Y4900 レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m以上3.0m以下 1層当り平均仕上厚30mm	35	m2			SPK26040241 00 単第0 -0014 表
仮設工	1	式			Y1E0115 レベル2
交通管理工	1	式			Y1E011521 レベル3
交通誘導警備員		人			Y1E01152101 レベル4
交通誘導警備員B	20	人			R0369 00

本工事費 内訳表

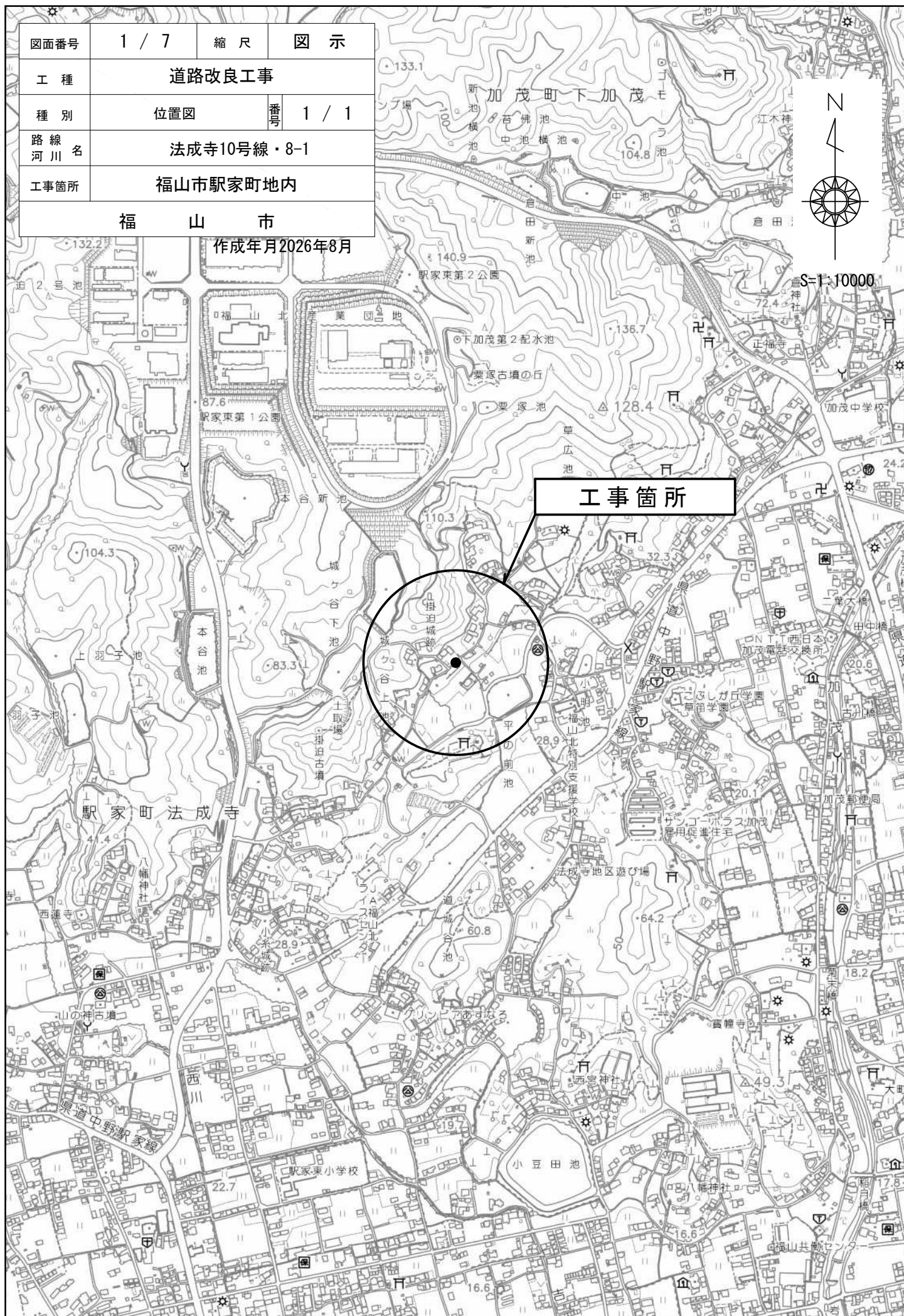
頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
* * 直接工事費 * * #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 共通仮設費計 * *					
* * 純工事費 * *					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 工事原価 * *					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額

本工事費 内訳表

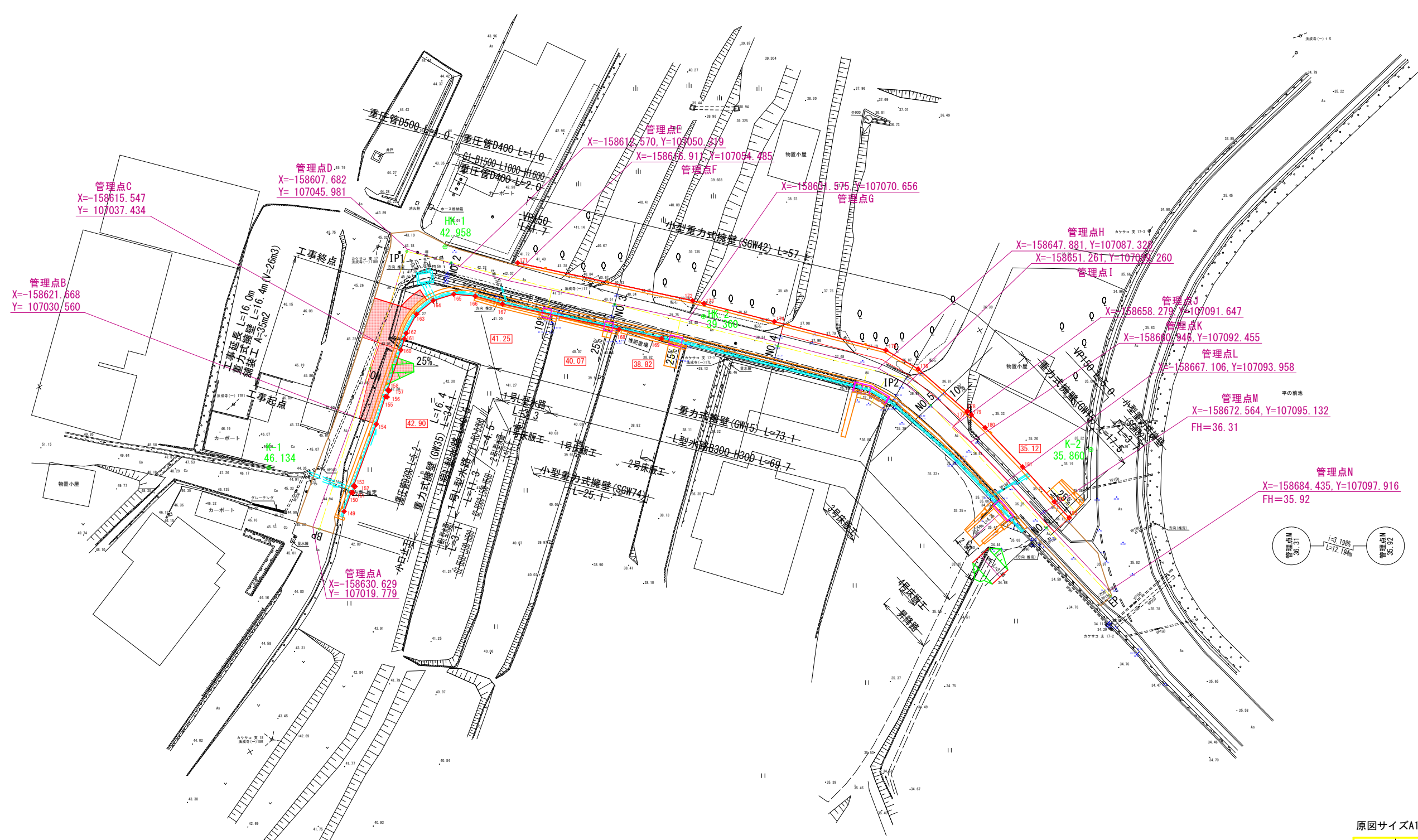
頁0 -0009

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般管理費計					
* * 工事価格 * *					
* * 消費税相当額 * *					
計算情報.....					
対象額.....					
率.....					
* * 工事費計 * *					
* * 契約保証費計 * *					





S=1:250
世界測地系

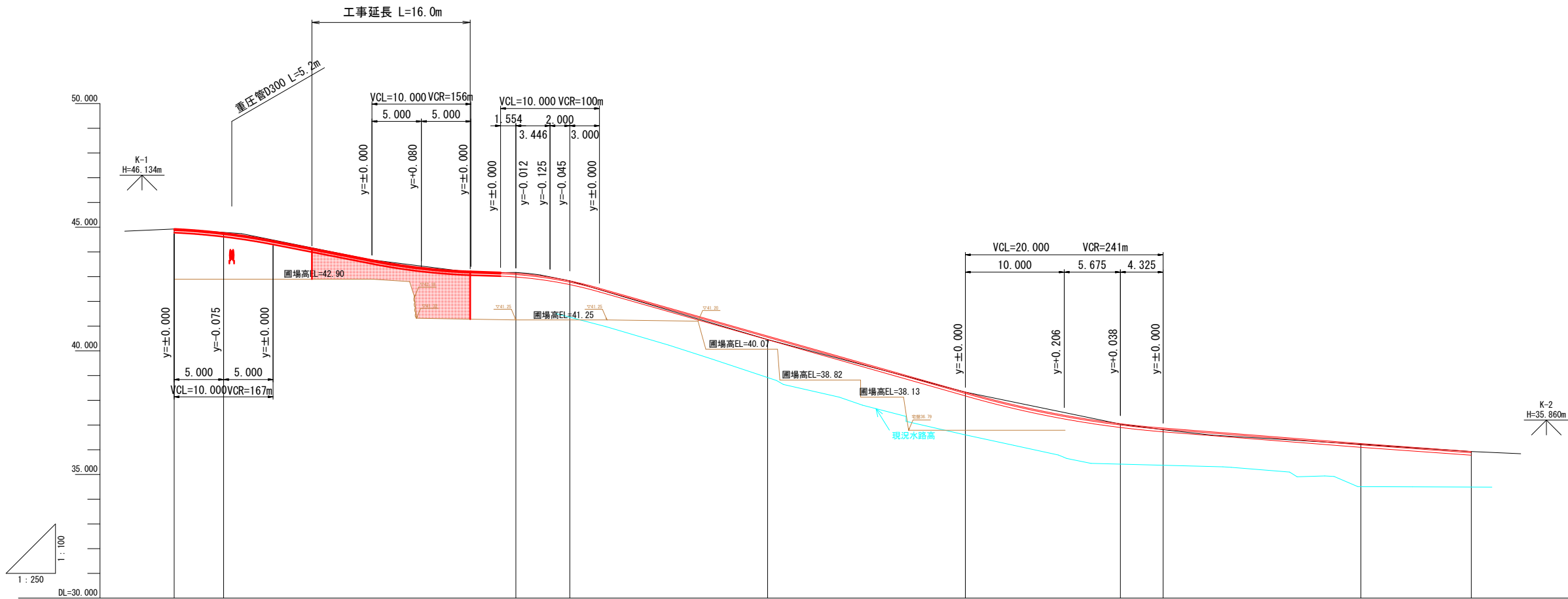


原図サイズA1

工事名	道路改良工事(法成寺10号線・8-1)		
図面名	平面図		
作成年月日	2026年 8 月		
縮 尺	S=1:250	図面番号	2 / 7
事務所名	福 山 市		

縦断図

V=1 : 100
H=1 : 250



勾配

盛土高

切土高

計画高

地盤高

追加距離

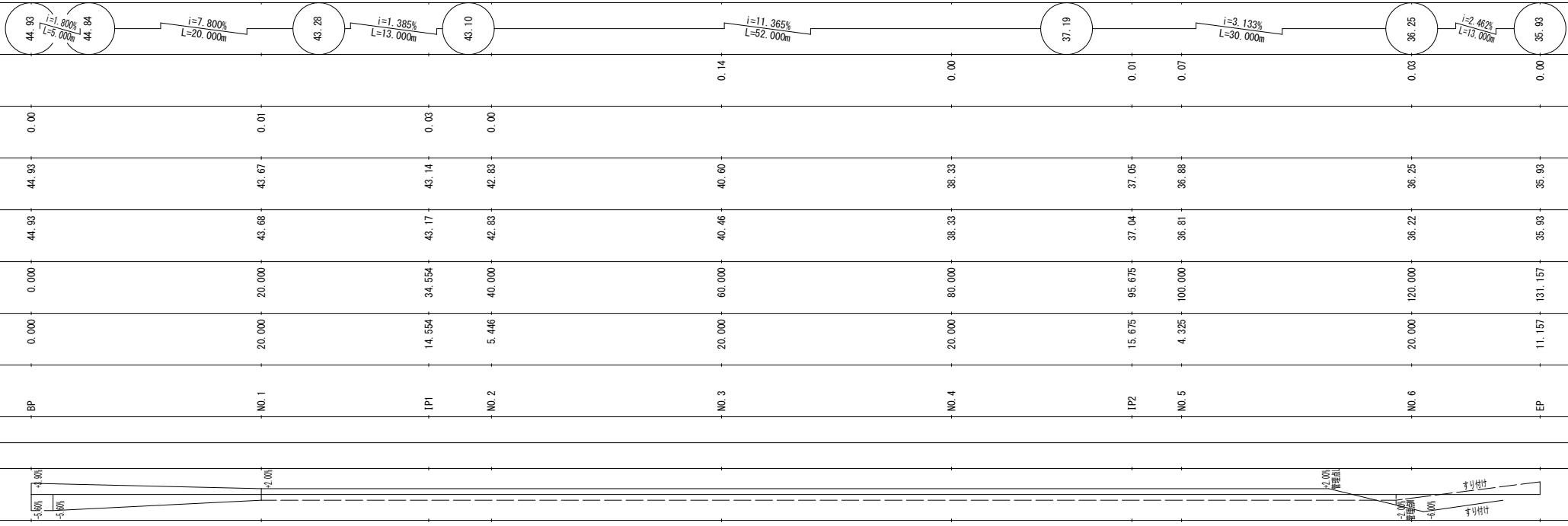
単距離

測点番号

平面線形
曲率図

片勾配
すりつけ図

拡中幅



原図サイズA1

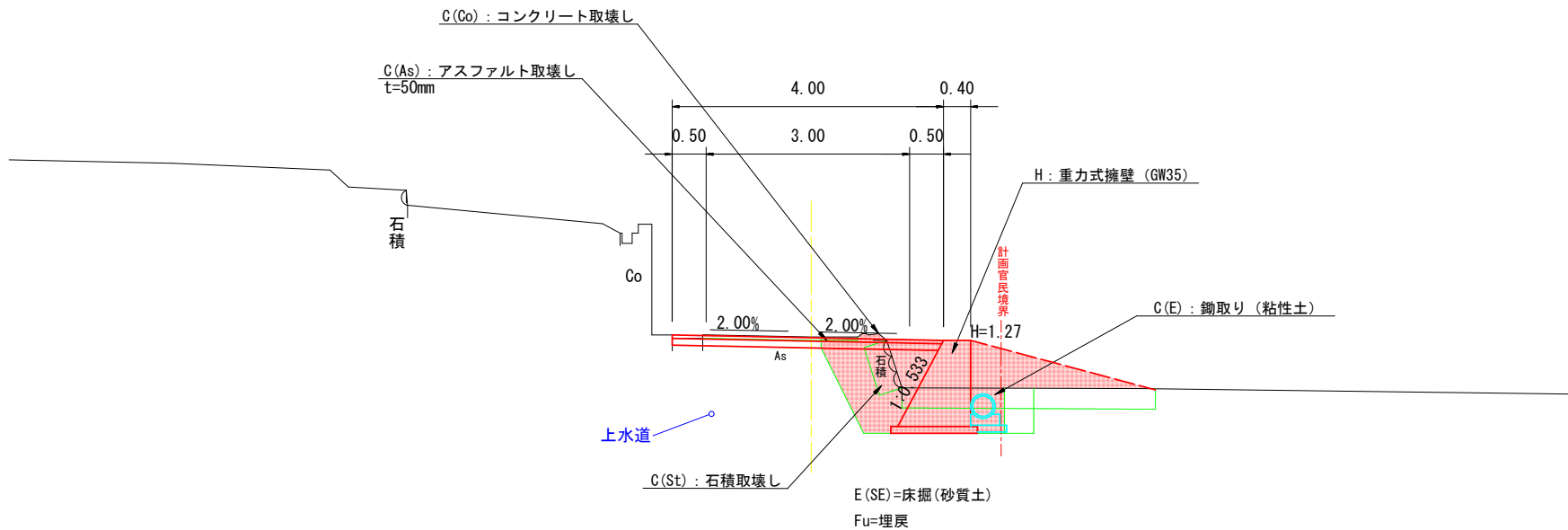
工事名	道路改良工事(法成寺10号線・8-1)		
図面名	縦断図		
作成年月日	2026年 8 月		
縮 尺	V=1 : 100 H=1 : 250	図面番号	3 / 7
事務所名	福 山 市		

標準横断図

S=1:50

記号	種別
C(SE)	掘削 片切 (砂質土)
C(E)	鈎取り (粘性土)
C(As)	アスファルト舗装取壊し
C(Co)	コンクリート取壊し
C(St)	石積み取壊し
B1	路床盛土
B2	路体盛土
盛土施工幅区分	
a	W<2.5m
Q	盛土法面 植生工
E(SE)	床掘 (砂質土)
Fu(C)	埋戻 (C) 埋戻幅 1.0m<W1<4.0m
Fu	埋戻 小規模
K(SE)	基面整正 (砂質土)
H	重力式擁壁、小型重力式擁壁
W1	車道舗装 表層 (再生密粒度アスコン)
W2	土層路盤 (再生粒度調整砕石RM-30)
W	取付舗装 表層 (コンクリート)

No. 1付近



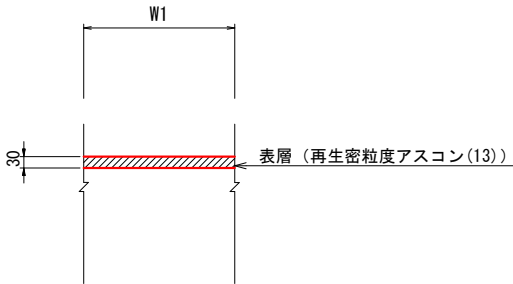
道路規格と舗装構成

道路規格	第3種 第5級		
設計速度	V = 20 km/h		
標準幅員構成	W = 4.00 m		
直線部の横断勾配	2.00 %		
最大片勾配	2.00 %		
交通の区分	T < 15 (N1交通)		
設計 CBR	6%以上		
目標とする値	TA = 8		
舗装構成	舗装厚	等価換算係数	TA値
表層工 (再生密粒度As)	5 cm	1.00	5.00
上層路盤工 (再生粒度調整砕石)	10 cm	0.35	3.50
計	15 cm		8.50

舗装構成図

S=1:10

車道舗装 (アスファルト)



原図サイズA1

工事名	道路改良工事 (法成寺10号線・8-1)		
図面名	標準横断図		
作成年月日	2026年 8 月		
縮尺	図示	図面番号	4 / 7
事業者名	福山市		

S=1 : 100

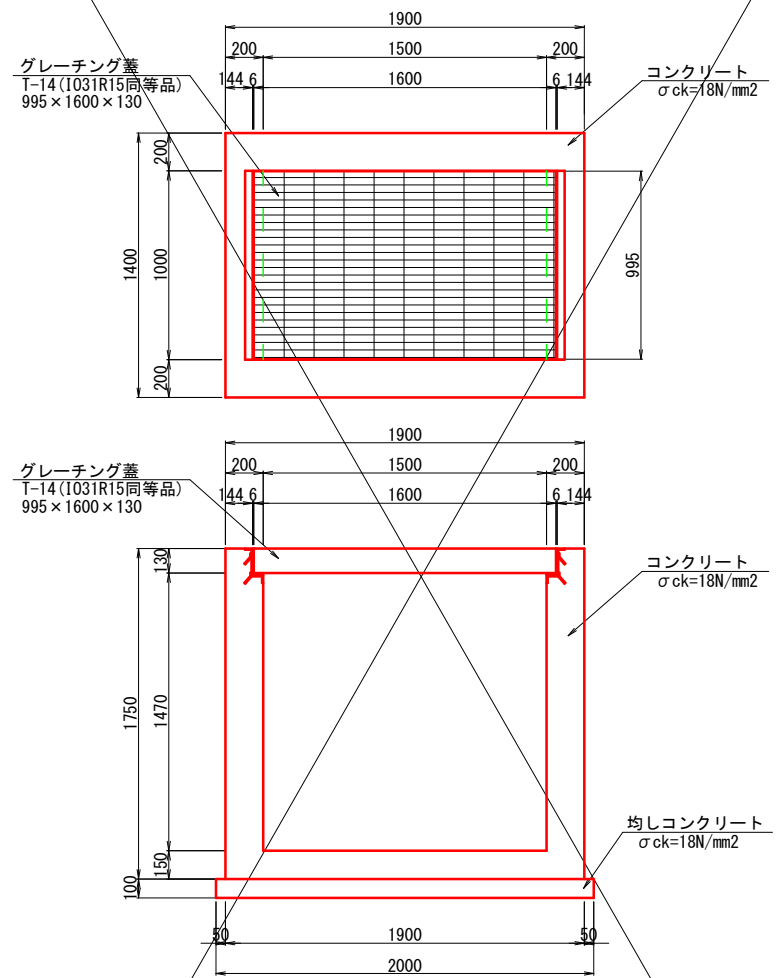


DL=40.000

BP、NO. 1	原図サイズA1		
工事名	道路改良工事(法成寺10号線・8-1)		
図面名	横 断 図		
作成年月日	2026年 8 月		
縮 尺	S=1:100	図面番号	5 / 7
事務所名	福 山 市		

G1-B1500-L1000-H1600

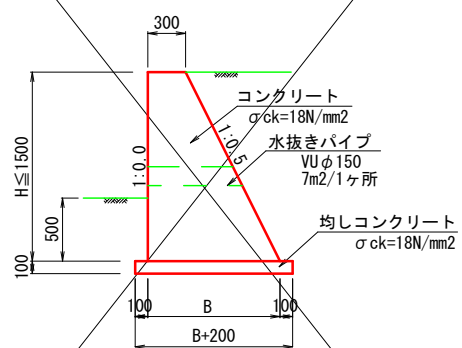
S=1:20



数量表 (G1-B1500-L1000-H1600)		1箇所当り	
名 称	規 格	単 位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m ³	2.255
型枠	無筋	m ²	20.300
均しコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m ³	0.300
均し型枠	小型	m ²	0.700
グレーチング蓋	T-14 995×1600×130	枚	1.0

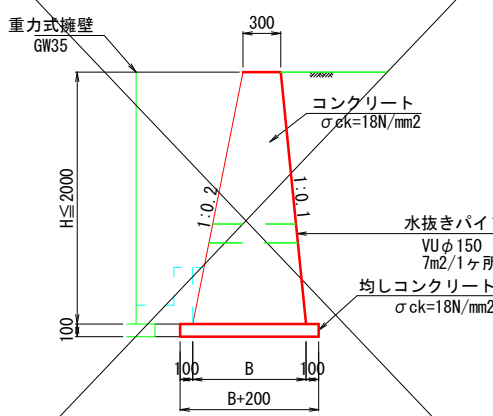
SGW42

S=1:30



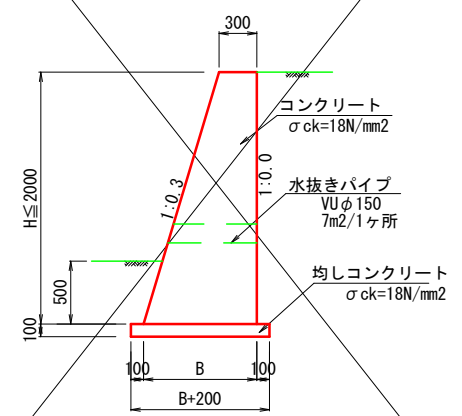
SGW74

S=1:30



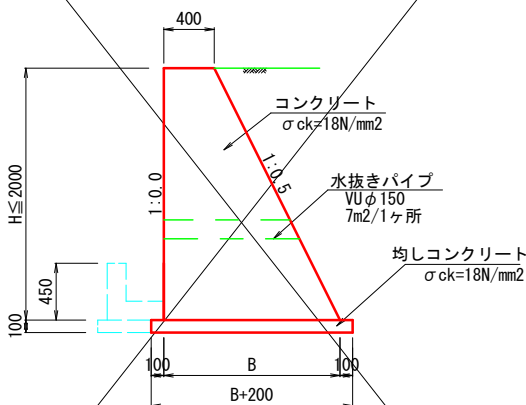
SGW82

S=1:30



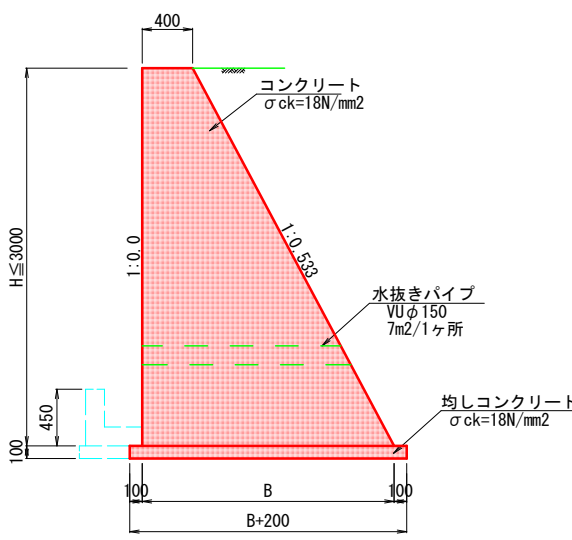
GW15

S=1:30



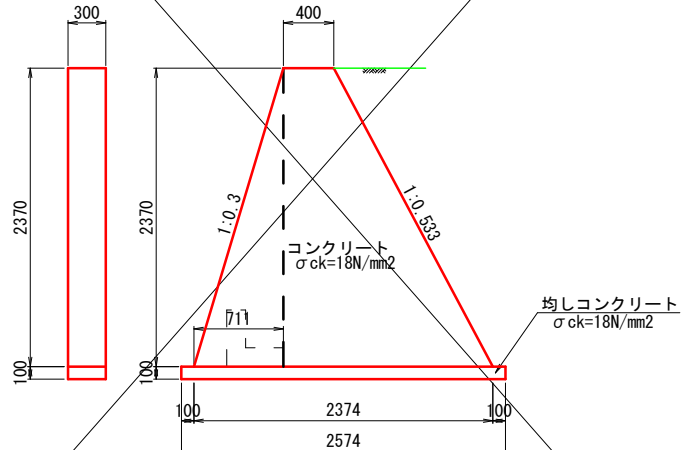
GW35

S=1:30



小口止工

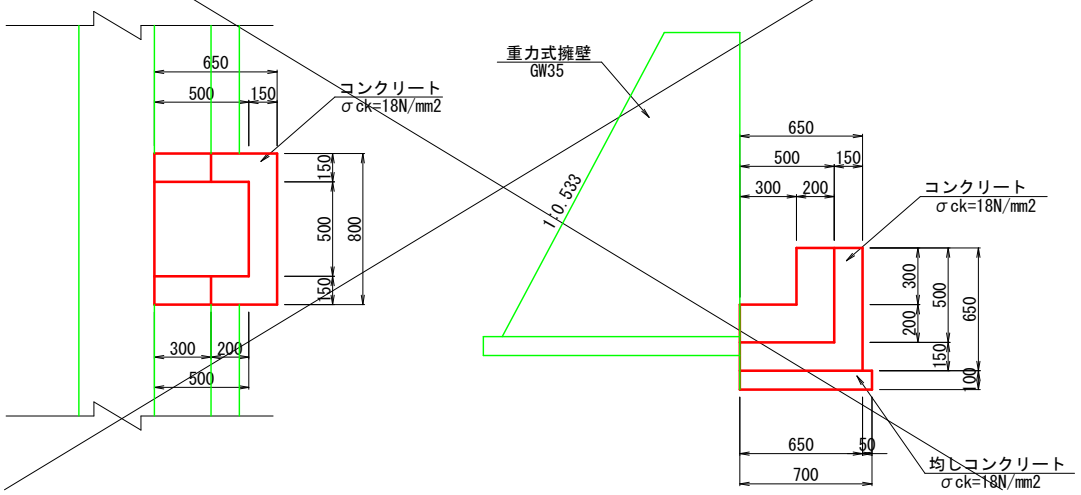
S=1:30



数量表 (小口止)		1箇所当り	
名 称	規 格	単 位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m ³	0.986
型枠	無筋	m ²	5.678
均しコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m ³	0.077
均し型枠	小型	m ²	0.060

G2-B500-L500-H500

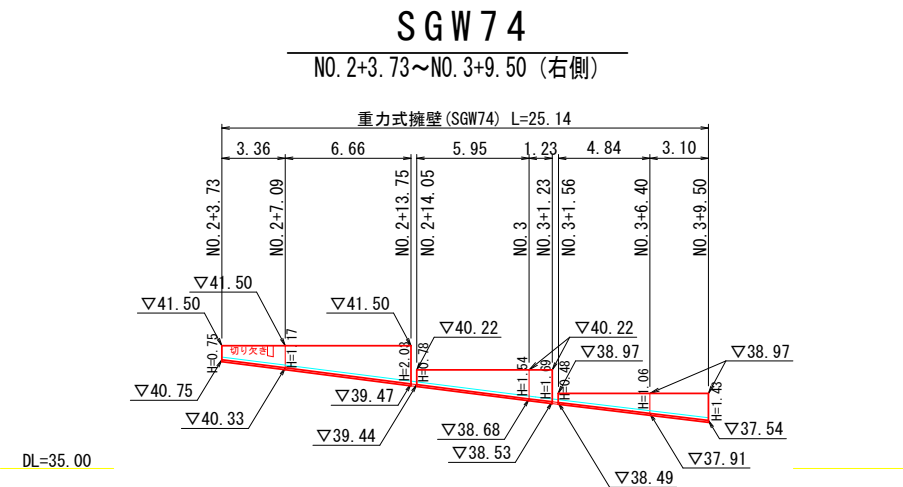
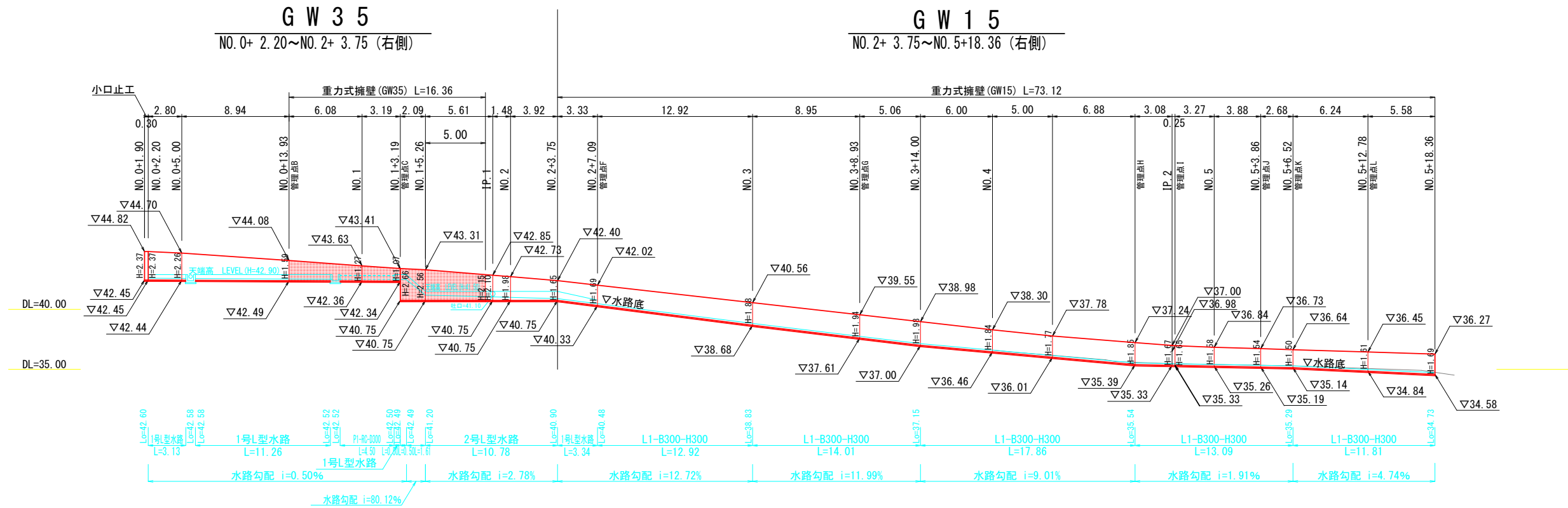
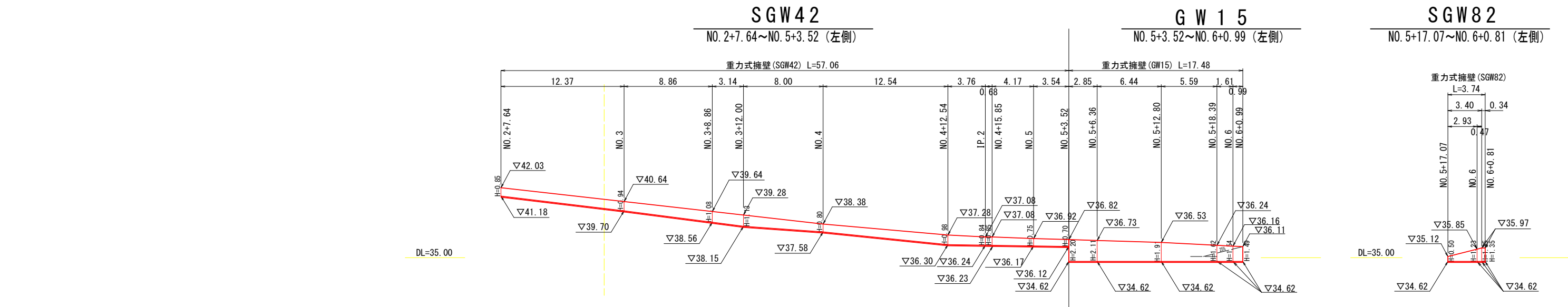
S=1:20



数量表 (G2-B500-L500-H500)		1箇所当り	
名 称	規 格	単 位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m ³	0.186
型枠	無筋	m ²	2.070
均しコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m ³	0.063
均し型枠	小型	m ²	0.230

原図サイズA1

工事名	道路改良工事(法成寺10号線・8-1)		
図面名	構 造 図		
作成年月日	2026年 8 月		
縮 尺	S=1:20	図面番号	6 / 7
事業者名	福 山 市		



原図サイズA1

工事名	道路改良工事(法成寺10号線・8-1)
図面名	擁壁展開図
作成年月日	2026年 8 月
縮 尺	S=1:200 図面番号 7 / 7
事業者名	福 山 市

参 考 图 书

施工単価表

掘削
土砂 上記以外(小規模)
機械構成比: 27.65% 労務構成比: 61.34% 標準
SPK26040001
材料構成比: 11.01% 市場単価構成比: 0.00% 単第0 -0001 表
1
標準単価: 1,342.70000 m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排3 バケット容量0.28m3	27.65%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排出ガス対策型(第3次基準値) バケット容量0.28m3		MTPC00185 MTPT00185
運転手(特殊)	61.34%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	11.01%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 E=7 土砂 標準			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

頁0 -0011

路床盛土
施工幅員2.5m未満
機械構成比:

SPK26040005

単第0 -0002 表

1
標準単価: m3 当り
7,199.30000

0.72% 労務構成比: 99.01% 材料構成比: 0.27% 市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>振動ローラ(ハンドガイド式) 質量0.8~1.1t	0.72%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.8~1.1t		KTPC00008 KTPT00008
普通作業員	89.35%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	9.66%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.27%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 施工幅員2.5m未満					

施工単価表

頁0 -0012

土砂等運搬
小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)
機械構成比: 25.12% 労務構成比: 63.12% 材料構成比: 11.76% 市場単価構成比: 0.00%

SPK26040002
DID区間無し 距離6.0km以下(5.0km超)

単第0 -0003 表
1
標準単価: 2,213.70000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 通称4t積級	25.12%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	63.12%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.76%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=28 距離6.0km以下(5.0km超)			B=5 バックハウ B容量0.28m3 D=1 DID区間無し		

施工単価表

頁0 -0013

土砂等運搬
小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)
機械構成比: 25.12% 労務構成比: 63.12% 材料構成比: 11.76% 市場単価構成比: 0.00%

SPK26040002
DID区間無し 距離13.0km以下(10.0km超)

単第0 -0004 表
1
標準単価: 3,622.50000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 通称4t積級	25.12%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	63.12%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.76%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=45 距離13.0km以下(10.0km超)			B=5 バックハウ B容量0.28m3 D=1 DID区間無し		

施工単価表

床掘り
土砂 上記以外(小規模)
機械構成比: 19.50% 労務構成比: 73.36% 材料構成比: 7.14% 市場単価構成比: 0.00% 単第0 -0005 表

1
標準単価: m3 当り
2,397.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排3 バケット容量0.28m3	19.50%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排3 バケット容量0.28m3		MTPC00189 MTPT00189
運転手(特殊)	39.84%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	33.52%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.14%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

頁0 -0015

埋戻し
土砂

SPK26040019
上記以外(小規模)

単第0 -0006 表

1
標準単価:

m3 当り
4,309.40000

機械構成比: 9.23%

労務構成比: 86.75%

材料構成比: 4.02%

市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排3 バケット容量0.28m3	8.67%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排3 バケット容量0.28m3		MTPC00189 MTPT00189
タンバ及びランマ ランマ 通称60～80kg級	0.56%		ランマ 通称質量60～80kg級		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員	49.78%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.28%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	17.69%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.17%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.85%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=5 D=1 上記以外(小規模) -(全ての費用)			B=1 土砂		

施工単価表

頁0 -0016

埋戻し

土砂

機械構成比: 9.23%

勞務構成比: 86.75%

上記以外(小規模)

材料構成比: 4.02%

市場単価構成比: 0.00%

單第0 -0006 表

1
標準単価：

m3 当り
4,309.40000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0017

重力式擁壁

擁壁平均高さ1m超2m未満

機械構成比: 2.91%

労務構成比:

SPK26040070

基礎砕石無し 均しCo有リ

69.29%

材料構成比:

27.80%

市場単価構成比:

0.00%

単第0 -0007 表

1
標準単価:

m3 当り

78,759.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回・超低騒音・C機能・排2014 バケット容量0.45m3吊能力2.9t	1.88%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回・超低騒音・C機能・排2014 バケット容量0.45m3吊能力2.9t		MTPC00160 MTPT00160
その他(機械)			その他(機械)		EK009
型わく工	16.15%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	13.61%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.51%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	2.27%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	27.40%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.26%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0018

重力式擁壁

SPK26040070

单第0 -0007 表

擁壁平均高さ1m超2m未満

基礎碎石無し 均しCo有り

1 m3 当り

機械構成比: 2.91%

勞務構成比: 69.29%

材料構成比: 27.80%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価： 78,759.00000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0019

構造物とりこわし工(無筋構造物)
機械施工(大型ブレーカまたは、Co圧砕機)

SDT00031

單第0 -0008 表

1 m3 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0020

舗装版切断

SPK26040304

単第0 -0009 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1 m 当り

機械構成比: 14.40%

労務構成比:

58.90%

材料構成比: 26.70%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

731.83000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式・E駆動 通称(切削深)20cm級 ブレード径 φ 56cm	9.80%		コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式・E駆動 通称(切削深)20cm級 ブレード径 φ 56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	20.20%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.89%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	9.00%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	22.47%		コンクリートカッターブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.88%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0021

鋪裝版切断

SPK26040304

單第0 -0009 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 14.40%

勞務構成比：

58.90%

材料構成比: 26.70%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

731.83000

[illegible]

施工単価表

舗装版破碎積込(小規模土工)

SPK26040017

単第0 -0010 表

機械構成比: 21.20% 労務構成比: 70.89% 材料構成比: 7.91% 市場単価構成比: 0.00% 1 標準単価: m2 当り 1,871.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 バケット容量0.13m3	21.20%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 バケット容量0.13m3		MTPC00184 MTPT00184
運転手(特殊)	70.89%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	7.91%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

殻運搬
Co(無筋)構造物とりこわし
機械構成比: 39.03% 労務構成比: 46.18% 材料構成比: 14.79% 市場単価構成比: 0.00%

SPK26040155
DID区間無し 運搬距離14.4km以下(10.9km超)

単第0 -0011 表
1
標準単価: 2,200.50000

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 通称10t積級	39.03%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	46.18%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.79%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=50 運搬距離14.4km以下(10.9km超)		

施工単価表

殻運搬
舗装版破碎
機械構成比: 19.09%

SPK26040155
DID区間無し 運搬距離3.0km以下(2.5km超)
労務構成比: 72.09%

単第0 -0012 表
材料構成比: 8.82%

市場単価構成比: 0.00%

1
標準単価: 3,664.60000

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 通称2t積級	19.09%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	72.09%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	8.82%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=4 機械積込(小規模土工) D=13 運搬距離3.0km以下(2.5km超)		

施工単価表

土砂等運搬
小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)
機械構成比: 25.12% 労務構成比: 63.12% 材料構成比: 11.76% 市場単価構成比: 0.00%

SPK26040002
DID区間有り 距離12.0km以下(9.0km超)

単第0 -0013 表
1
標準単価: 3,622.50000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 通称4t積級	25.12%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	63.12%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.76%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=44 距離12.0km以下(9.0km超)			B=5 バックハウ B容量0.28m3 D=2 DID区間有り		

施工単価表

頁0 -0026

表層(車道・路肩部)

SPK26040241

単第0 -0014 表

平均幅員1.4m以上3.0m以下

1層当り平均仕上厚30mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.55%

労務構成比:

15.08%

材料構成比:

83.37%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

2,001.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅1.4～3.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.99%		アスファルトフィニッシャ ホイール型 舗装幅1.4～3.2m		KTPC00078 KTPT00078
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第2,3次基準値)低騒音	0.20%		振動ローラ(舗装用) 搭乗・コンバインド式 運転質量3～4t		KTPC00009 KTPT00009
<賃>タイヤローラ 質量3～4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.18%		タイヤローラ 運転質量3～4t		KTPC00057 KTPT00057
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	5.15%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	3.51%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	3.45%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	1.24%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0027

表層(車道・路肩部)
平均幅員1.4m以上3.0m以下
機械構成比: 1.55%

SPK26040241
1層当り平均仕上厚30mm
労務構成比: 15.08%

材料構成比: 83.37%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0014 表

1
標準単価:

m2 当り
2,001.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)	76.07%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPC00024 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	6.98%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.29%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=3 C=7 G=2 I=1	平均幅員1.4m以上3.0m以下 再生密粒度アスファルト混合物(13) 小型車割増有 -(全ての費用)		B=30 E=2 H=1	1層当り平均仕上り厚(mm) PK-3 -	
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):30.000(mm)					

本 工 事 費 数 量 総 括 表								
工事名		法成寺10号線 道路改良事業					事業区分	道路新設・改築
レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	単位	計算数量	計上数量	摘要
工事区分	工種	種別	細別	規 格				
道路改良								
	道路土工							
		掘削工			m ³			
			鋤 取	粘性土	m ³	8.9	9	
		盛土工			m ³			
			路床盛土	W<2.5m	m ³	23.5	20	
		作業残土 処理工			m ³			
			残土処分	粘性土	m ³	8.9	9	
				砂質土等	m ³	1.6	2	
	擁壁工							
		作業土工			m ³			
			床 掘	砂質土	m ³	43.0	40	
			埋 戻		m ³	13.8	10	
		場所打擁壁工 (構造物単位)						
			重力式擁壁	1.0m<H<2.0m 18N-8-40	m ³	26.1	26	
	構造物 撤去工							
		構造物 取壊し工						
			コンクリート 取壊し		m ³	0.7	0.7	
			舗装版切断		m	13.9	14	
			アスファルト 取壊し		m ²	17.0	17	
			石積み取壊し		m ²	7.9	8	
		運搬処理工						
			殻運搬	Co殻	m ³	0.7	0.7	
			殻運搬	As殻	m ³	0.9	0.9	17.0*0.05
			土砂運搬	石積	m ³	7.9	8	
			処理費	Co殻 無筋	t	1.6	2	0.7*2.35
			処理費	As殻	t	2.1	2	0.9*2.35
			処理費	岩塊等	m ³	7.9	8	
	舗装工							
		アスファルト 舗装工						
			表層		m ²	34.7	35	

計第 1 表 土 量 配 分 表								
工 種	種 別	細 目	記号	単位	地山の立積	変化率	盛土換算土量	流用計画
土 工								
	掘 削							
	片 切		C(SE)	m ³	0.0	0.9	0.0	
	鋤 取	粘性土	C(E)	m ³	8.9	0.9	8.0	
	盛土工							
	路床盛土	W<2.5m	B1a	m ³		0.9	23.5	
	路体盛土	W<2.5m	B2a	〃		0.9	0.0	
	合計				0.0		23.5	0.0
	擁壁作業土工							
	床 掘	砂質土	E(SE)	m ³	43.0	0.9	38.7	13.8 24.9
	埋 戻	埋戻種別(D)	Fu(D)	〃			13.8	←
	埋 戻	埋戻種別(C)	Fu(C)	〃			0.0	→
	小型水路作業土工							
	床 掘	砂質土	E(SE)	m ³	0.0	0.9	0.0	0.0 0.0
	埋 戻	埋戻種別(D)	Fu(D)	〃	0.0			←
	埋 戻	埋戻種別(C)	Fu(C)	〃	0.0			←
残土処分								
	残土処分	粘性土		m ³	8.9	0.9	8.0	←
		砂質土等		m ³	1.6	0.9	1.4	←
						1.2	1.9	

計 第 3 表 盛 土 工 計 算 書

測 点	路床盛土				路体盛土			
	距 離	B1a	平 均	立 積	距 離	B2a	平 均	立 積
BP								
		1.4						
NO. 1	6.0	0.7	1.05	6.3				
	3.2	0.7	0.70	2.2				
		1.0						
	2.1	1.0	1.00	2.1				
	5.0	3.4	2.20	11.0				
昇降路		1.4						
NO. 1	2.7	0.0	0.70	1.9				
合 計				23.5				0.0

計 第 5-1 表 場所打擁壁工（作業土工）計 算 書

		床掘 (砂質土)			埋戻			基面整正 (砂質土)		
測 点	距 離	E (SE)	平 均	立 積	Fu	平 均	立 積	K (SE)	平 均	平 積
右側 (GW35, GW15, SGW74,)										
		2.1			1.0					
NO. 1	6.0	1.4	1.75	10.5	1.0	1.00	6.0			
	3.2	1.4	1.40	4.5	1.0	1.00	3.2			
		5.7			0.6					
	2.1	5.7	5.70	12.0	0.6	0.60	1.3			
	5.0	0.7	3.20	16.0	0.7	0.65	3.3			
左側 (SGW42)										
NO. 3										
NO. 4										
IP. 2										
NO. 5										
左側 (GW15)										
左側 (SGW82)										
NO. 6										
合 計				43.0			13.8			0.0

[illegible]

計 第 10-1 表 構造物取壊し工

計 算 書

[illegible]

